

ご相談はいつでもどうぞ。



止めましょう！
テロも戦争も

日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団
2021.5.25. No.1803.
御相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970
FAX とも
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)



ことし5回目の どの時にも住民とともに
まちかど・トーク **そねはじめ都議は語る**
5月9日@赤羽西5丁目
都立病院を守るために、必ず都議会にと



●都営・区営住宅の収入帯報告の時期
桐ヶ丘臨時窓口が開設
▶6月4日(月)~7月9日(金) 平日のみ
午前9時~午後4時までとなります。

訴えるそねはじめ都議です。そこには、コロナ医療の最前戦で奮闘する医療従事者への尊敬と期待、何よりも都民の命を守るという決意がこめられています。

北区のコロナ対策の拠点である北医療センターは、皆様もご存知のように、国立王子病院が立川に移転・統合された跡地に建設された病院です。
●後医療として社会保険病院として建設され、その後も、自公政権による医療攻撃とのたたかひの中、まに住民運動の力で現在の姿に。
●どんなに困難なときも、住民とともに、ねばり強くがんばり抜き、住民要求の実現に全力をあげる。そねはじめ都議の原点です。

5月20日号の「北区ニュース」に掲載されました。6月18号も忘れずに。

▼下の図は、「5/20付北区ニュース」と参考に、党区議団作成。
新型コロナウイルスワクチン ※6/1付でさらに多診療所を会場がふえます。3日~予約、7日~接種

5月下旬より **接種会場10カ所に**

○は先行に接種の3つの病院



新型コロナウイルスワクチン接種は、5月24日から、65~74歳の方の予約が始まります。また、20日からは、3つの接種センターに加え、7つの医療機関での予約が開始され、接種可能な会場は10カ所となります(図参照)。これまでと同様、コールセンターもしくは、インターネットでの予約となります。

北区コロナワクチン接種コールセンター
☎ 0120-801-222

インターネットでの予約はこちらから→



要介護1~5の認定の方
要介護認定者の
ワクチン接種会場への移動支援



対象者 要介護認定(要支援を除く)を受けている高齢者のうち、会場への自力での移動が困難で、ご家族による送迎等が難しい方(付き添いの方も同乗していただけます)。
流れ ①接種予約→②下記電話で配車申込み→③タクシー会社から連絡が来て送迎の調整→④接種当日自宅まで迎車→⑤介護保険証を提示して乗車→⑥接種後、自宅まで乗車
申込み 配車取次センターにお申込み下さい。
☎ 03-3914-2227 ※月曜日から金曜日 9時より17時まで

この状況下で自衛公明維新が病床削減法と強行

命が選別されている

新型コロナウイルス感染症の病床が逼迫している大阪府や兵庫県では、介護施設など福祉施設のクラスター（感染者集団）が増加するなか、感染した高齢者が入院して適切な医療を受けられないまま、施設内で亡くなる事例が相次いでいます。「命が選別されている」「高齢者は死を待つしかないのか」。家族や施設関係者から厳しい批判が出ています。

（岡素晴、内藤真己子）

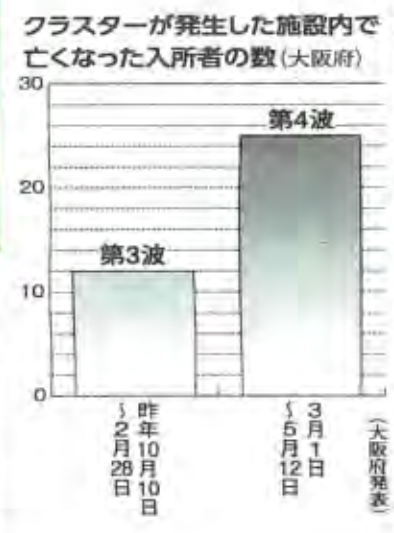
「いざん赤旗」2021.5.24.付

大阪府では3月以降の第4波に高齢者や障害者施設で102件のクラスターが発生。府の発表では、このうち6施設の25人が入院治療を受けずに施設で亡くなりました。うち8人が入

MON-とくほう・特報

施設でクラスター多発 入院できず死亡 大阪2倍

兵庫県では第4波に福祉施設で43件のクラスターが起きています。神戸市長田区の介護老人保健施設「サニーヒル」で4月半ばから発生したクラスターはいま



大規模なクラスターが発生した介護老人保健施設「サニーヒル」神戸市長田区

対策遅れ塗炭の苦しみ

右面のつづき

神戸市長田区の介護老人保健施設「サニーヒル」で138人が感染した大クラスター。神戸市内で暮らす80代の男性は「連休中にテレビで大惨事を知り、がくせんとしました」と話します。入所中の妻が感染しました。一時は酸素マスクが必要な状態でしたが、熱も下がりが安定したと聞いた矢先でした。大感染を起し、施設内で多数の死者が出ていることは知らされていませんでした。「医師がいると言っても夜



高齢者にも医療の保障を

血中酸素飽和度が80%未満の人を最優先の「A」などランク付けし入院調整をしています。サニーヒルの患者について同市は「医療体制が逼迫しており施設内での療養を要請していた」とし、たうえ、「医師が施設に常駐していたことが勘案され、同じランクでも自宅待機者より順位は下がっていた」（健康局）と入院が後回しになったことを認めています。

日本共産党神戸市議団の森本真由氏は指摘します。「施設にコロナ患者を留め置いて感染を拡大させたらうえ、入院させず済まし事態を招いた神戸市の責任は重大です。市は入院が必要な患者をすべて入院させる立場に立ち、国にベッドの広域確保を求めるべきです。（以下略）」

日本共産党の森本神戸市議団員

職員と入所者へのワクチンの迅速な接種、頻回定期的なPCR検査体制の確保が欠かせません。

37人が感染。入所者31人が死亡しましたが、入院できなかったのは3人だけで、28人が施設内で亡くなっています。

宝塚市の老健施設でも入所者・職員54人が感染し入所者9人が死亡。8人が入院できないまま施設で亡くなりました。「心の持って行き場がありません。コロナで面会できないうちに、こんなことになって」。神戸市のサニーヒルの集団感染で、母親を亡くした女性は言葉少なに語ります。母親は入院できず施設で息を引き取りました。「国がまともに対応してない。日本っていい国やと思っていただけ、違っちゃんと思いましたが」（上段につづく）

コロナ病床の使用率が90%台と高止まりする神戸市は、

入院を後回し

2021.5.25. 「いざん赤旗」 NA1803